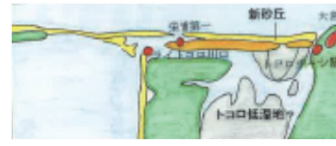
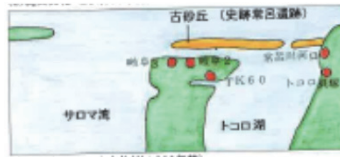


サロマ湖周辺の古地形図



▲ 縄文時代(約7,000年前) ▲ 続縄文時代(約4,000年前) ▲ 擦文時代(約1,000年前)

◆北海道と本州との時代区分

■年 前	■北海道の時代区分		■常呂遺跡の主な出来事	■本州の時代区分	
20,000	旧石器時代		常呂に人が住み始める	旧石器時代	
10,000	縄文文化	早期	石刀鎌文化が大陸から広がる(トコロ貝塚) 常呂川河口遺跡に人が住み始める 石囲み炉が作られる トコロ貝塚(カキ、ハマグリ)が残される ヒスイの勾玉がお墓に副葬される	縄文文化	
8,000		早期			
6,000		中期			
4,000		後期			
3,000	続縄文文化	オホーツク文化期	コハクのネックレスがお墓に副葬される ガラス玉、鉄器がお墓に副葬される 常呂川河口遺跡15号住居が作られる	弥生文化	
2,000				晩期	古墳時代
1,800					飛鳥時代
1,400	擦文文化		たくさんの住居が残される(栄浦第二遺跡)	奈良時代	
800	中世	アイヌ文化期	トコロチャシが作られる 常呂川河口遺跡低湿地木製品	平安時代	
400	近世			鎌倉時代	
	近代・現代			室町時代	
				江戸時代	
				明治・大正	
				昭和・平成	

* 時代年表は、地層の深層からの遺跡から時代区分がされています。

* 「常呂川のほとりに暮らした人々」2002年3月5日常呂町教育委員会発行を転記したものです